

科目名	教育実習 I				担当	関 裕子・今井 香織・千葉 直紀 幼児教育学科教員			
形態	演習 実習	単位数	5	開講時期	1・2年 通年	実務経験	幼稚園での勤務経験あり(関)、保育園 での勤務経験あり(千葉)		
必修	幼免:必修		レク:選択必修		ナパリング	Y5101	DPとの関連	免1・免2	
授業概要	<p>本科目は、幼稚園教諭免許状を授与するための必修科目で、1年次に2週間(10日間)幼稚園で実施する。現場の教諭の指導を受けながら、観察及び参加実習を中心に保育活動に部分的に参加し、幼児および幼稚園教諭の役割と専門性に関する理解を深める。また、記録や指導案作成を通して、子どもの遊びや個人差、教師がどのように子どもの遊びや生活を支えているのか理解する。</p> <p>現場の教諭の指導に加えて、幼児教育学科の教員が実習中に園訪問し指導助言を行う。</p>								
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育実習の意義と目的、実習生としての基本的な心構えを身につける</li> <li>・教育実習の内容を理解し、自己課題を明確にする</li> <li>・観察や参加実習、記録から幼児理解を深め、その援助や方法について事例や実践から学ぶ</li> <li>・部分実習(絵本の読み聞かせ)を計画、実践、省察し、具体的に学ぶ</li> <li>・実習の事後指導を通して実習を振り返り、実習の総括と自己評価を行い、今後の学修に向けた課題や目標をたてる</li> </ul>								
授業計画	回	内容							
	1	<p>主として以下の5点を行う その他、必要に応じて配属園の教師の指導を受け、実践する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 幼稚園教育の基本や生活の流れの理解</li> <li>② 子どもの遊びや活動、保育者の保育実践の観察</li> <li>③ 保育実践への部分的参加</li> <li>④ 保育の記録、指導計画の作成・実践・省察・評価</li> <li>⑤ 多様な園務業務</li> </ol>							
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価基準	実習現地指導、実習園からの評価、実習日誌、指導計画等から総合的に評価する								
評価	その他 100%(実習中の勤務状況および実習園による評価、教育実習指導 I の評価をもち行う								
フィードバック 方法	実習日誌等が実習中、もしくは実習後に返却される								
アクティブ ラーニング	幼稚園実習								
教科書	「上田女子短期大学実習ガイドブック」「幼稚園教育要領」 「これからの時代の保育者養成・実習ガイド」大豆生田啓友 編著								
参考書	特に指定しない。必要に応じて授業内で配布する。								
履修条件	他の専門科目における学習内容を、つねに現場の実態や子どもの姿に結びつけて考える習慣をつけておくこと。「幼稚園教育要領」を熟読しておくこと。教育実習指導 I の学習内容を復習しておくこと。その他、事前に実習園からの指示がある場合はそれに従うこと。								
オフィス アワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること								